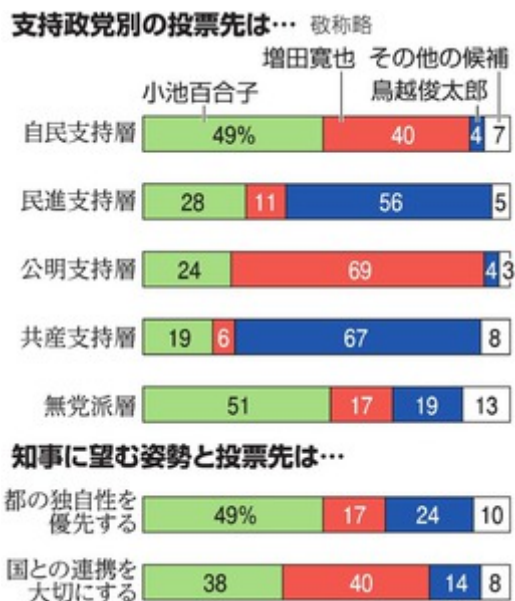


## 都知事選、小池氏に幅広い支持 朝日新聞出口調査

峰久和哲 2016年8月1日04時02分



支持政党別の投票先は…

東京都知事選で初当選した小池百合子氏は、自民党内の調整がないまま唐突に立候補表明したために党幹部らの逆鱗（げきりん）に触れ、与党を敵に回す形で選挙戦に臨んだ。そんな姿が無党派層の過半数、野党支持層の一部の票を呼び込んだばかりか、多くの自民支持層の共感も得たようだ。

朝日新聞社は都内180投票所で出口調査を実施、1万185人から有効回答を得た。それによると、自民支持層のうち49%が小池氏に投票し、自民が推薦した増田寛也氏の40%を上回った。公明支持層は69%が増田氏に投票したが、小池氏に24%が流れた。

鳥越俊太郎氏は、さきの参院選で一定の成果を得た4野党共闘に乗った。ところが、4党支持層の票は鳥越氏でまとまらず、民進支持層で鳥越氏に投票したのは56%にとどまり、28%が小池氏に投票した。

小池氏は共産支持層の19%を取り込んだほか、社民支持層、生活支持層の2割弱の票を得た。4野党共闘の最大の援軍になるはずの無党派層も鳥越氏には19%だけで51%が小池氏に回った。おおさか維新支持層は60%が小池氏に投票した。

投票者の年代別、性別にみると、小池氏は偏りなく票を集めた。増田氏は30～40代で振るわなかった。鳥越氏は高齢層に偏り、20代では10%に満たなかった。

投票の際、最も重視したことは①政策や公約（32%）②クリーンさ（18%）③経歴や実績（15%）④実務能力（14%）⑤リーダーシップ（14%）⑥支援する政党や団体（5%）の順。

「実務能力」を選んだ人のうち最多の44%が増田氏に、「支援する政党や団体」を選んだ人のうち最多の46%が鳥越氏に投票した。他の選択肢を選んだ人はいずれも小池氏が最多で、特に「リーダーシップ」を選んだ人の71%が小池氏に投票した。

国と都の関係について新しい知事に求める姿勢は、「都の独自性を優先する」が59%、「国との連携を大切にする」が38%。「都の独自性」を選んだ人の49%が小池氏、「国との連携」を選んだ人の40%が増田氏に投票した。（峰久和哲）